

# 2019 年度事業報告書

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 人と動物の共生センター

## 1 事業の成果

法人設立 8 年度にあたり、組織基盤の強化と各種事業の着実な進展を行うことができた。また 2020 年 3 月 5 日に認定 NPO 法人として認定を受けることができた。

伴侶動物のしつけ教室の企画運営事業では、2019 年度から 2.3%減となる、3979 組の利用があり、適正飼育法を伝えることができた。伴侶動物の問題行動の解決援助事業では、127 件の新規相談を受け付け、カウンセリング・行動診療を行った。伴侶動物の飼育方法についての情報提供事業については、家庭犬トレーニングアドバイザー養成講座（各回 3 時間、10 回連続講座、定員 12 人、参加者 11 人）、及び、問題行動解決塾（各回 2.5 時間、4 回連続講座、定員 20 人、参加者 14 人/2~4 回は 2020 年度実施）、パピークラス基礎セミナー（2 時間、単発講座、定員 40 人、参加者 25 人）、「家で犬を楽しませるための 7 つの工夫」オンラインセミナー（1 時間、単発講座、定員なし、参加者 40 名）を開催し有益な情報提供ができた。人と動物の共生に関する社会教育事業においては、動物の福祉と倫理（のべ参加者 159 人）を開催した。自然災害等に備えた、人と動物の防災事業では、減災教室ペット編を発行し、行政機関や各種団体に提供すると同時に、災害時に事務所を動物用避難所として活動設置できるように、動物避難所開設計画を作成し、動物避難所開設訓練を 2 回実施した。ペット後見互助会企画運営事業では、ペット後見セミナーを開催し、広くペット後見に関する知識を共有した。また、認定 NPO 法人となったことを受けて、生命保険信託を活用したペット後見の引き受けを開始した。人と動物の共生に関する調査、研究事業では、「全国ロードキル調査」を実施予定だったが、人員確保が難しく、延期した。野外で繁殖する動物の繁殖抑制事業では、行政、ボランティア、市議会議員と意見交換会を開催し、野外で生活する猫について興味のある人たちとの交流や情報交換を行うため、2 回「長良川猫パーティー」を開催した。ペット産業の社会的責任推進のための調査、研究、提言事業では、株式会社シロップと協働したペットショップ店頭アンケート調査、獣医師を対象とした数値規制に関するアンケート調査を実施した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業 の実施日時 (B) 当該事業 の実施場所 (C) 従事者人 数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費 の金額 (単位： 千円)
伴侶動物の しつけ教室 の企画運営 事業	ドッグ&オーナーズスクール ONELife の運営を行い、年間のべ 3979 組（2016 年度：3341 組/2017 年度：3795 組/2018 年度：4074 組）の犬と飼い主への指導を行った。パピークラス体験数は 326 組（2016 年度：209 組/2017 年度：269 組/2018 年度：323 組）と、昨年度から 1.0%増加した。	(A) 通年 (B) 法人事務 所 (C) 9 人	(D) 犬の飼い 主 (E) のべ 3979 組	21,733

伴侶動物の問題行動の解決援助事業	ぎふ動物行動クリニックの運営を行い、127件の新規相談を受け付け、問題行動の解決の支援を行った。新規相談数は、127件（2017年度：83件／2018年度：125件）と、昨年度と同等程度であった。	(A) 通年 (B) 法人事務所 (C) 3人	(D) 犬猫の飼い主 (E) 127組	4,894
伴侶動物の飼育方法についての情報提供事業	家庭犬トレーニングアドバイザー養成講座では、10回連続講座を定員16名募集し、11名が応募し、実施した。問題行動解決塾では、4回連続講座を定員20名募集し、14名が応募し実施した。獣医動物行動学研究会から獣医師向けベーシックセミナーの撮影・編集依頼を実施した。9月にペット関連事業者向けに、パピークラス基礎セミナーを実施し25人の参加があった。外出自粛を受け、3月に「家で犬を楽しませるための7つの工夫」と題し、オンラインセミナーを実施し40名が参加した。	(A) 通年 (B) 法人事務所 (C) 3人	(D) 犬猫の飼い主 ペット関連事業従事者 (E) のべ231人	1,920
人と動物の共生に関する社会教育事業	人と動物の共生に関する社会教育事業では7月1日、9月9日、12月2日、3月2日に「動物の福祉と倫理」をテーマに全4回シリーズでセミナーを開催し、延べ134人の参加があった。	(A) 通年 (B) セミナー会場 (C) 2人	(D) 一般 (E) のべ134人	126
自然災害等に備えた、人と動物の防災事業	災害時に事務所を動物用避難所として活動設置できるように、動物避難所開設マニュアルを作成し、動物避難所開設訓練を実施した。 2019年10月の豪雨災害、2020年1月のオーストラリア火災災害に対して寄付を募集し、現地の支援団体に対して支援を行った。	(A) 通年 (B) 法人事務所 (C) 5人	(D) 一般飼い主 (E) 不特定多数	887
ペット後見互助会企画運営事業	日本郵便年賀寄付金事業の助成を受け、パンフレットを一新しました。主催セミナーを5回行い、のべ47人の参加があった。2017年度より実施している、個別相談を継続し、5件の個別相談を行った。終生飼育契約は得られなかったため、契約数はのべ2件となった。終生飼育契約を結んだ会員の入院などに備え、緊急保護計画書を作成した。	(A) 通年 (B) 法人事務所 (C) 9人	(D) 一般飼い主 (E) のべ52人	924
人と動物の共生に関する調査、研究事業	全国ロードキル調査を実施予定であったが、人員確保の問題から、実施できなかった。	(A) — (B) — (C) —	(D) — (E) —	0
野外で繁殖する動物の繁殖抑制事業	7月29日に行政、ボランティア、市議会議員と意見交換会を行った。また、野外で生活する猫について興味のある人たちとの交流や情報交換を行うため、11月15日、2月9日に「長良川猫パーティー」を開催した。	(A) 通年 (B) 法人事務所 (C) 3人	(D) 一般市民 (E) のべ30人	348

ペット産業の社会的責任推進のための調査、研究、提言事業	株式会社シロップと協働したペットショップ店頭アンケート調査を実施した。関東圏を中心に、大手ペットショップ7系列のショップ、計19店舗に覆面調査員を派遣して、調査を実施した（未発表）。 獣医師を対象とした数値規制に関するアンケート調査（ <a href="http://human-animal.jp/csr/1652">http://human-animal.jp/csr/1652</a> ）を実施した。	(A)通年 (B)法人事務所 (C)5人	(D)ペット産業従事者 (E)不特定多数	370
動物の保管に関わる事業	ペットホテルの運営を行った。	(A)通年 (B)法人事務所 (C)2人	(D)一般飼い主 (E)のべ273人	2,060

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
物品販売に関わる事業	犬に関連した物品の販売を行った。	(A)通年 (B)法人事務所 (C)2人	3,172